



Contents

目次

新年を迎えて	2
新年の挨拶	3
認知症患者医療センター(地域拠点型)の指定を受けて	4
第29回西日本認知症高齢者対策研修PSW課程を開催しました	5
国立病院機構としての災害医療と熊本復興	6
外来診療のご案内	6

発行所：〒861-1116 熊本県合志市福原208
独立行政法人国立病院機構 菊池病院
編集発行：広報誌編集委員会
印刷：陽文社印刷株式会社

Basic idea

基本理念



安心して相談できる心と脳の
専門医療を目指します

M E N T A L

Mental Care

EBM

National Policy

Teaching

Amenity

Local Network

人権を尊重した、安心かつ納得できる、精神医療とケア
最新の医学的知見に基づいた、安全で理にかなった治療
政策医療を中心とした、社会のニーズに対応できる医療
高度かつ先駆的な精神医療のための、研究・教育・研修
自然に囲まれ、ゆったりと落ち着いた、快適な治療環境
地域の関連機関と協力・連携した、心の健康作りの形成



菊池病院院長 木村 武実

明けましておめでとうございます。

昨年、国際的には、北朝鮮問題、トランプ大統領就任、エルサレム首都宣言による中東危機などがあり、国内では、大手企業（東芝、日産、神戸製鋼など）の粉飾および偽装改ざん、森友・加計学園問題、政治家（稲葉、今村、豊田など）不祥事、レゴランド開業、メルカリ現金売買騒動、豊洲問題などが注目されました。最近、各国民は、自国の利益や現況からの脱却を強調する党首を選ぶ傾向がありますが、どうも悪い方向に進んでいるような気がします。

陰陽五行説の五行から構成された十干と、時刻や方角でも使われている十二支の組み合わせからみる干支を確認すると、今年は十干が「戊」、十二支が「戌」となるので、干支は「戊戌（つちのえいぬ）」となります。戌年は戌の字が示すように滅する年、つまり草木が枯れて休眠する年といわれています。戌の司る月は、旧暦で9月、現在の新暦で10月か

ら11月になり、季節では秋が深まる頃を指します。つまり、季節の変化を受け入れ休眠し、次の月（亥）に命の種と力を委ねることです。したがって、昨年の酉年は「商売繁盛・収穫の年」でしたが、戌は「守りの年」となります。また、戌年には勤勉な努力家という意味もありますので、知識を蓄えるにも最適です。

菊池病院は今年、「病棟建て替え」という大きな課題があります。昨年、着工予定でしたが、実施設計の遅延により今年に持ち越しとなりました。来年亥年以降の当院発展のため、今年は地道に、ハード面を充実させ、医療安全、感染防止、職員のメンタルヘルス対策などのリスクマネジメントを的確に行い、自己研鑽に励み、医療レベルの向上を図り、患者満足度の改善と地域住民の信頼につなげていきたいと思います。

最後になりましたが、本年もよろしくお願い申し上げます。

新年の挨拶

事務部長 大木 和博

新年あけましておめでとうございます。

28年度の国立病院機構は発足後初めての赤字経営となりました。当院も震災の影響により機構と同じく独立行政法人移行後初めての赤字でしたが、昨年は震災で落ち込んだ患者数も回復し、このままいけば29年度はなんとか黒字で終われそうな状況となっています。

さて、当院の病棟建て替えも計画発生から8年が経過しようとしています。その間、東日本大震災に伴う材料費・人件費の高騰等で落札業者がないこと、また収支悪化による償還計画の変更等の理由で計画の仕切り直しがありました。27年12月に再度計画を見直し設計段階まで進んでいたのですが、28年4月の熊本地震の影響で実施設計の見直しが発生しました。

それにより遅れていた工事入札が、いよいよ今年の春頃には実施される見込みです。工期は1年の予定となっていますので、入札がうまくいけば来年の春頃には新病棟が完成します。完成するまでには職員配置の変更、病棟の引っ越し、記念式典等の計画・準備等で大変忙しくなりますが皆さんどうぞよろしくお願いいたします。病床数は精神病床120床、重心病床100床となっています。新病棟は認知症・精神病棟と重心病棟を別棟とし、認知症・精神病棟は3階にリハビリ部門、重心病棟は3階に療育部門を設置しており、建て替わるとこれまで以上に地域・患者さんのニーズにこたえられる病院として益々充実していくと思っています。菊池病院は今、職員全員の長年の夢であった病棟建て替えの最終段階まで進んで来ています。これから病棟完成がスムーズに行くように努力していきたいと思っています。これからの皆様の協力をよろしくお願いいたします。

看護部長 村田 淳子

新年明けまして、おめでとうございます。

2016年4月に発生した熊本地震から1年9ヶ月が過ぎようとしています。これまで、多くの皆様方にご支援をいただきました。あらためて、感謝申し上げます。

現在は、6つの病棟を5つに集約し、入院病床も247から218床に縮小して運営しております。狭い病棟や急遽、病棟にせざるを得なかった環境の中で、患者様方には大変ご不便をおかけしているのが現状です。このような環境の中でも、患者様方に安心して心穏やかに過ごして頂けるよう職員一丸となって取り組んで参りました。何があっても、いつも通り私達がやるべきことに全力を尽くすことが大事なことで改めて感じております。

さて、今年は戌年です。意味を調べてみます

と「地盤を守る」「安産（新たに何かを産む）」「勤勉で努力」などがあります。

「地盤を守る」この菊池医療圏において、関連施設の方々と協力しながら、地域の皆様方の「心と脳」の健康を守り、この地において必要とされる、選ばれる病院としての地盤を確立していきたいと思えます。

「新たに何かを産む」今年は、いよいよ新病棟建て替えが始まる予定です。新たな環境でこれまで以上により良い看護が提供できるよう、皆で知恵を絞り協力しながら準備を進めていかなければなりません。

「勤勉で努力」これまで行ってきた看護はもちろん、今後は将来を見据え専門職業人としてさらに自己研鑽し、質の高い看護が提供できるよう努めて参ります。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

認知症疾患医療センター（地域拠点型）の指定を受けて

臨床研究部長 本田 和揮

平成 27 年 7 月に菊池病院が熊本県から認知症疾患医療センターの指定をうけてから二年半が経ちました。もともと菊池病院は認知症の患者さんが多かったのですが、センターの指定を受けてからさらに相談者の数が増加しました。熊本県内には現在計 12 ヶ所の医療機関の指定を受けていて、30 分程度運転すればどこかの疾患医療センターにたどり着くことができるようになっていきます。各疾患医療センターは熊本市中央区圏域、阿蘇圏域、天草圏域、球磨圏域など各地域の認知症医療の中心的な存在を担っていますが、菊池病院は合志市、菊陽町、菊池市、大津町、熊本市北区の菊池郡圏域の対応をしています。

菊池病院の認知症医療の役割は大きく 2 つにわかれます。まず 1 つめは認知症の診断です。認知症はアルツハイマー病、レビー小体型認知症、血管性認知症、前頭側頭型認知症に大別されますが、かかりつけ医の先生には馴染みのないケースは少なくなく、精神科医でも認知症を専門としていない先生には判断に迷う場合があります。菊池病院では認知症専門医が診断を行って適切な治療方針を提示しています。2 つめの役割は入院を請け負うことです。多くの認知症患者さんは落ち着いた在宅生活が可能でありデイサービスなどを利

用しながら外来通院してもらおうのですが、少数ながら在宅生活が難しい患者さんもいます。認知症の患者さんの問題のある症状を BPSD (Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia) といいますが、なかでも興奮や夜間徘徊は在宅生活の継続を妨げとなります。このような症状を呈する患者さんの入院を請け負って薬物療法や看護師たちによるケアで安定を図り、在宅生活への復帰や施設入所を目指しています。精神科病床を持たない一般病院やクリニックでは BPSD をもつ患者さんの入院対応は難しいので精神科病院である菊池病院が担う大事な役割となります。

このように菊池病院は認知症疾患医療センターとして診断や入院を中心に行い、地域に欠かせない医療機関となるよう努力しています。しかし、初診に至るまでに待機が長いことや病棟の老朽化のため快適な入院環境とはなりにくいことが問題となっています。そのため早期の受診の必要なケースには予約を先回しにするなどしており、さらに入院環境に関しては平成 30 年度内に新病棟に移行する予定となっています。まだ理想の状況に向かう途中ですが、認知症のことであれば十分な対応が可能な病院となるように職員一同、日々努力しています。



第29回西日本認知症高齢者対策研修 PSW 課程を開催しました

精神保健福祉士 泊 三紀子

西日本地区のモデル事業施設として当院が指定され、昭和63年より西日本認知症高齢者対策研修の看護課程及びPSW課程として、これまで2千人以上の医療従事者に参加頂いています。平成29年度PSW課程は、10月11日(水)～13日(金)の3日間研修を行いました。認知症患者の基礎と支援に必要な資質向上を図ることを目的とし、講義、認知症治療病棟の見学、事例検討会を行います。今年度は、九州各地と遠くは四国・中国地方の各地から20名の方々が受講致しました。

当院院長をはじめ、医師、認知症認定看護師、臨床心理士、栄養士、PSWより、それぞれの専門分野の講義を行いました。また、日頃より連携をしている認知症支援推進員にも昨年に引き続きご講義頂き、その中で「地域と専門医療機関の連携は片側通行でなく、行き来が出来る大きな架け橋でありたい」と言う言葉が、とても印象的でした。支援を必要とする者を中心に、関わる事業所や機関の各職種が、互いの役割を認識しながらスムーズに連携・支援体制を整えていく必要性を今一度考える機会となりました。

研修生は、各講師の講義内容を真剣に聴きながら各自ノートに書き留め、積極的に質問を行い、多職種や他機関の役割、連携方法等



についての関心の高さが感じられました。

最終日は半日を使って事例検討会を行ったところ、各グループで意見交換が活発に交わされ、発表時間をオーバーしてしまうほどの盛り上がりでした。「検討時間が足りない!」との声をちらほら聴きつつ、慌ただしく発表の準備を行った場面が思い出されます。研修初日には、各講師と研修生との活発な会話が飛び交う食事会を行ったことが、研修生間の連携を深めるきっかけになったのかもしれない。

アンケートで「各専門職の講義が聴けて良かった」「認知症について正しい理解を深める機会となった」「自分の業務を見直す良い機会となった」等の研修を開催する立場としては、とてもやりがいを感じた言葉を頂きました。

短い期間の研修ではありましたが、一人一人何かしらの学びや気づきを得られたことと思います。今後の実践の中で生かされていくことを嬉しく思います。

国立病院機構としての災害医療と熊本復興

庶務班長 藤山 哲也

菊池病院が属する国立病院機構は東日本大震災を教訓に、大規模災害に的確に対応出来るよう研修や訓練を積み重ね、災害医療は重要な使命の一つとなっています。4月14日の地震発生の翌日から九州管内の機構28病院を統括する九州グループが近隣施設より医療班3班の派遣指示を行い、私は佐賀病院の職員として、4月15日(金)の夕刻に熊本市内に入り、16日午前1時25分の熊本地震に遭遇しました。

最初の活動は、熊本市市民病院の入院患者の転院搬送を担い、その後、避難住民の医療活動として益城町体育館に向かいました。体育館天井が崩壊し使用出来ずエントランスホールや廊下の限られたスペースに、沢山の人々がシートや毛布で寝床を確保し、足の踏み場も無い状態でした。我々は、玄関ホールの一角に診療スペースを確保し、風邪や腹痛及び降圧剤や糖尿治療薬を継続服用されている住民の処方や、創傷処置等の医療活動を行いました。



平成29年10月に菊池病院へ転勤を命ぜられ、住居を探すために、震災後1年半を経過した熊本を訪れました。春先の転勤シーズンと異なり簡単に探すことが出来ると思っていたのですが、不動産を尋ねるも「住居が崩壊された家族や復興作業業者が長期間入居され物件が無い」との説明でしたが、ようやく夕刻近くに確保することが出来一安心。熊本の災害復興の情報は、近隣である佐賀県においてもニュース報道されることは無く、崩壊家屋においては全く手付かずでブルーシートが掛けられている箇所が多数あることに驚きました。益城町体育館が、1年以上も経過した現在も復興に向けた解体作業を行っている難しさを感じたところです。

菊池病院においては、病棟建替計画が熊本地震によりストップしてましたが、待望の新病棟が完成することを患者及び職員一同待ち望んでいるところです。



外来診療のご案内

GUIDANCE OF OUTPATIENT CARE

(平成30年1月1日)

診療科	項目	月	火	水	木	金
精神科	新患	田中	坂西	中村	木村	坂西
			塩沢	三浦 (午前)	本田 (第2・4)	本田 (第1・3・5)
	再来	塩沢	木村	木村	坂西	田中
		三浦 (午後)	植田	加治屋		塩沢

【専門外来】

- ◆老年期・・・担当医：木村、本田、塩沢
- ◆物忘れ外来・・・認知症予防と認知症に対する専門外来を行っています。
※認知症の検査から診断まで、1日で行います。
- ◆画像診断・・・当院にて、CT・MRI検査を受けることができます。

【受診方法】

- ①予約制となっています。
初診の方：お電話でご相談ください。担当の相談員が受診日を調整致します。
再診の方：次の診察日を予約となります。予約のされていない方は、外来へ連絡してください。
- ②セカンドオピニオン外来を実施しています。

【診察時間】

- 受付 8:30～15:00
- 診療 8:30～17:00
- 休診 土・日曜、祝祭日、振替休日、年末年始(12月29日～1月3日)



交通機関

- JR豊肥本線三里木駅下車タクシー10分
- 熊本空港よりタクシー約20分



独立行政法人 国立病院機構 菊池病院

〒861-1116 熊本県合志市福原 208

TEL 096-248-2111 FAX 096-248-4559

<http://www.kikuchi-nhp.jp/>